

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	言語教育研究センター
大項目	11 教員・教員組織
中項目	
小項目	11.0.2 学部・研究科等の教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。
要素	編制方針に沿った教員組織の整備 授業科目と担当教員の適合性を判断する仕組みの整備
小項目	11.0.3 教員の募集・採用・昇格は適切に行われているか。
要素	教員の募集・採用・昇格等に関する規程および手続きの明確化 規程等に従った適切な教員人事
小項目	11.0.4 教員の資質の向上を図るための方策を講じているか。
要素	教員の教育研究活動等の評価の実施 ファカルティ・ディベロップメント (FD) の実施状況と有効性

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 「言語教育の全学的体制に係る人事構想」に基づく言語教育担当教員の構成の枠組みを2013年度までに再設定する。	→現在の「言語教育の全学的体制に係る人事構想」に代わる新たな枠組みの創設。	C
2. 各言語の教育の質向上と全学提供体制の改善のために、S T比の改善を図る。	→各言語におけるST比。専任教員・常勤講師の増員数。	C
3. 常勤講師の採用活動を円滑に進めるための関係規程を2012年度を目途に整備する。	→「言語教育常勤教員に関する規程」その他、関係諸規程の改定。	B
4. センターとしてのFDの場であるセンター会議、語種ごとのFDとしての各語種別懇談会を定期的に開催する。	→センター会議、各語種別懇談会の開催数。参加者数。成果報告。	A

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

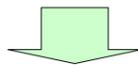
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆	小項目 11.0.2	(方針) 各言語の教育の質の向上と全学提供体制の改善のために、S T比の改善を図る。特に全学提供方式をとる中国語、朝鮮語、スペイン語、日本語の専任教員、常勤講師を増員し、教育の質の向上を目指す。 (現状説明) 言語教育研究センターの構成員は各学部の外国語の専任教員および任期制の常勤教員からなっている。常勤教員が2名(中国語1, 英語1)増員されたが、専任教員の増員はなされていない。
☆	小項目 11.0.3	(現状説明) 各学部の言語教育担当の専任教員の採用人事について、1999年以降、言語教育研究センターに推薦人事委員会を構成し、採用候補者の選定を行うことになっており、これまでに25件の人事を行った。任期制教員についても「言語教育常勤教員に関する規程」に基づき、適切な教員人事を毎年行っている。
☆	小項目 11.0.4	(現状説明) センター会議、言語研究センター主催の研究会をそれぞれ1回開催し、言語教育全般に関してFD活動を行った。また全学提供方式をとる各語種で懇談会を行い(中国語1回、スペイン語1回、朝鮮語1回、日本語4回)、各語種別の教育に関してFD活動を行った。
☆	その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目 11.0.2	
小項目 11.0.3	各学部の言語教育担当の専任教員の採用人事、任期制言語教育常勤教員の採用に関して、センターは大きな役割を果たしている。
★ 小項目 11.0.4	言語研究センター研究会では活発なFD活動がなされており、その内容は言語研究センター研究年報で報告されている。
その他	



【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目 11.0.2	
小項目 11.0.3	
★ 小項目 11.0.4	センター会議、言語研究センター研究会でのFD活動の重要性を確認し、次年度以降も継続的にFD活動を維持する方針を徹底させる。
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目 11.0.2	ST比の改善、言語教育の質の向上のために、専任教員・常勤講師の増員が必要である。
小項目 11.0.3	
★ 小項目 11.0.4	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目 11.0.2	非常勤講師依存率を示し、専任教員・常勤教員の増員の必要性を示す。
小項目 11.0.3	
★ 小項目 11.0.4	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★ その他 (自由記述)	
-----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

- 現状説明の記述は明確です。
- 目標に照らして進捗している状況であると判断されます。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ なし

V. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

11.0.0.S1	専任教員一人あたりの在籍学生数
11.0.0.S2	開設授業科目における専任比率
11.0.0.S3	専任教員の年齢別構成
11.0.0.S4	教員一人当たりの授業時間数
11.0.0.S5	本学出身の専任教員の構成比率
11.0.0.S6	海外の大学で学位を取得した専任教員の比率
11.0.0.S7	教員組織における実務家教員の占める割合(専門職大学院に限定)
11.0.0.S8	教員組織における女性教員の占める割合
11.0.0.S9	任期制教員(契約教員)の採用数
11.0.0.S10	実験実習指導補佐、教務補佐、授業補佐の採用数
11.0.0.S11	ティーチング・アシスタント(TA)の採用数
11.0.0.S12	契約助手の採用数
11.0.0.S13	実験助手の採用数
11.0.0.S14	リサーチ・アシスタント(RA)の採用数
11.0.0.S15	公募制による採用教員の数

<個別的な指標>
